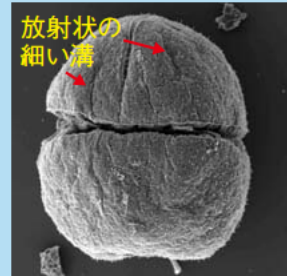
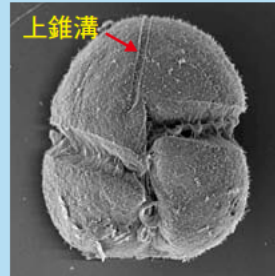


カレニア ウムベラ(渦鞭毛藻)

(*Karenia umbella*)

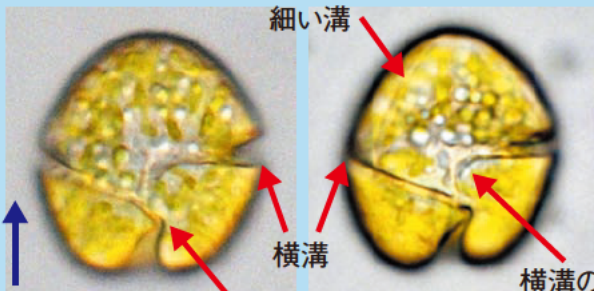


ゆっくりと回転しながら泳ぐ。



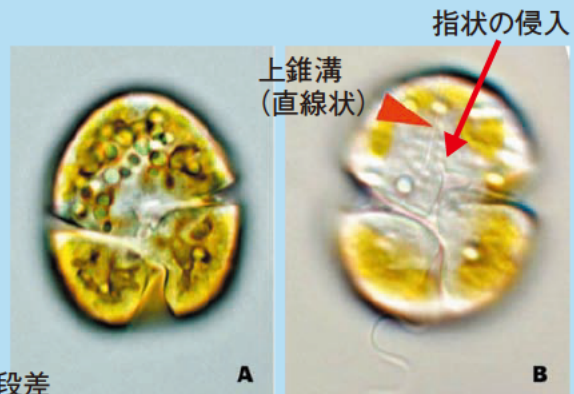
光学顕微鏡写真

(撮影:元広島県立水産海洋技術センター・高山晴義氏)



↑
遊泳方向

腹面



上錐溝
(直線状)

指状の侵入

A

B

横溝の段差
(大きい)

縦溝(やや湾曲)

横溝

光学顕微鏡写真

(撮影:元広島県立水産海洋技術センター・高山晴義氏)

大きさ 長さ33~42 μ m、幅31~35 μ m

形態 色は黄褐色。細胞は球形~卵型で、丸みがある(扁平ではない)。横溝の段差は大きく、幅の2倍程度ずれる。縦溝は、前方では横溝を越えて指状にわずかに侵入し、後方ではやや湾曲し、後方に向かうほど太くなる。細胞の前方には、直線状の上錐溝(じょうすいこう)と、放射状にシワのような細かい溝があるが、光学顕微鏡では観察しづらい。

動き ゆっくりと回転しながら泳ぐ。

分類 類似種にカレニア ロングカナリス(*Karenia longicanalis*)があるが、カレニア ウンベラは、細胞のサイズがやや大きい、縦溝が横溝を越えて指状に侵入する、前方に放射状にシワのような細かい溝があるなどの特徴で区別できる。

漁業への影響：魚介類のへい死を引き起こす危険性がある。赤潮の発生に伴って、魚類の他、貝類(アワビ、サザエ)のへい死が確認されている。

漁業被害：平成17年11~12月に的矢湾で赤潮(最高13,000細胞/ml)が発生し、蓄養中の魚類(メバル、ベラ)、貝類(アワビ、サザエ)、天然魚類(ハゼ、ギンポ)などに少数ながらへい死が見られた。

発生海域：的矢湾

発生時期：11~12月頃